



# 子どもの予防接種

- 予防接種は、すべて医療機関で受けてください。
- 予防接種は、下の表に記載されている時期になりましたら、お子さんあてに届きます。
- 予防接種は、予防接種が終了するまで大切に保管してください。

問合せ：保健医療企画課

☎ 39-9109 FAX 38-0780

https://www.city.toyohashi.lg.jp/5241.htm

WEB情報



## 定期予防接種

生ワクチン 不活化ワクチン

標準的な接種年齢 法律で定められた接種対象年齢

	2か	3か	4か	5か	7か	12か	18か	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	16歳	18歳	19歳	20歳	対象年齢	予防接種が届く時期	
<b>B型肝炎</b> (不活化ワクチン)	①	②	③	②1回目から27日以上の間隔をおいて接種 ③1回目から139日以上の間隔をおいて1回接種																				1歳未満	生後2か月になる前月の20日頃	
<b>ロタウイルス</b> (生ワクチン)	①	②	③	ロタリックス (2回接種) ①生後2か月～生後14週6日までに接種 ①-②27日以上の間隔をおいて接種 ロタテック (3回接種) ①生後2か月～生後14週6日までに接種 ①-②-③27日以上の間隔をおいて接種																				ロタリックス 生後6週～生後24週0日 ロタテック 生後6週～生後32週0日	生後2か月になる前月の20日頃	
<b>小児用肺炎球菌</b> (不活化ワクチン)	①	②	③	④	①-②-③標準的には1歳までに、27日以上の間隔をおいて3回接種 ④3回目接種後60日以上あけて生後12～15か月で1回接種																				生後2か月～5歳未満	1・2・3回目 生後2か月になる前月の20日頃 4回目 1歳になる前月の20日頃
<b>ヒブ</b> (インフルエンザ菌b型) (不活化ワクチン)	①	②	③	④	①-②-③27日以上、標準的には56日までの間隔をおいて3回接種 ④3回目接種後7か月以上、標準的には13か月までの間隔をおいて1回接種																				生後2か月～5歳未満	令和6年2月生まれ以降は5種混合の予防接種を送付
<b>4種混合</b> (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ) (不活化ワクチン)	①	②	③	④	1期①-②-③20日以上、標準的には56日までの間隔をおいて3回接種 1期④3回目終了後1年～1年半の間に1回接種																				1期 生後2か月～7歳6か月未満 2期 11歳～13歳未満	令和6年2月生まれ以降は5種混合の予防接種を送付 小学校6年生の4月
<b>5種混合</b> (4種混合・ヒブ) (不活化ワクチン)	①	②	③	④	1期①-②-③20日以上、標準的には56日までの間隔をおいて3回接種 1期④3回目終了後6か月から18か月の間隔をおいて1回接種																				1期 生後2か月～7歳6か月未満 2期 11歳～13歳未満	1・2・3回目 生後2か月になる前月の20日頃 4回目 1歳になる前月の20日頃 小学校6年生の4月
<b>BCG</b> (結核) (生ワクチン)	標準的には生後5か月～8か月未満までに1回接種																				生後3か月～1歳未満	生後2か月になる前月の20日頃				
<b>MR</b> (麻疹・風しん混合) (生ワクチン)	1期：1歳～2歳未満の間に1回接種 2期：5歳～7歳未満の子で小学校就学前1年間に1回接種																				1期 1歳～2歳未満 2期 5歳～7歳未満で小学校就学前の1年間	1期 1歳になる前月の20日頃 2期 小学校就学前の4月				
<b>水痘</b> (水ぼうそう) (生ワクチン)	①-②1回目接種後6か月～1年おいて接種																				1歳～3歳未満	1歳になる前月の20日頃				
<b>日本脳炎</b> (不活化ワクチン)	1期①-②6日以上、標準的には28日までの間隔をおいて2回接種 1期③2回目終了後6か月以上、標準的には概ね1年後に1回接種																				1期 生後6か月～7歳6か月未満 2期 9歳～13歳未満	1期 3歳になる月の20日頃 2期 小学校4年生の4月				
<b>HPV</b> (子宮頸がん予防) (不活化ワクチン)	ガーダシル・サーバリックスは3回接種 シルガード9は1回目の接種が15歳未満は2回接種、15歳以上は3回接種																				小学6年生～高校1年生相当年齢の女性	小学校6年生の4月				

### ※1 日本脳炎特例対象者について

	生年月日	対象年齢	接種回数等
特例対象者	平成17年4月2日～平成19年4月1日生まれ	20歳未満	・一度も受けていない子・・・4回接種 ・これまでに1回でも受けたことがある子・・・残りの接種(1回～3回) ※接種間隔については、医師と相談してください。

### ※2 HPVの定期対象者・キャッチアップ接種対象者等について

	生年月日	接種回数等
定期対象者	平成21年4月2日～平成26年4月1日生まれ	・一度も受けていない方・・・3回接種(15歳未満でシルガード9を接種される方は2回) ・これまでに1回でも受けたことがある方・・・残りの接種(1回～2回)
キャッチアップ接種対象者 + 平成20年度生	平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれ	※接種間隔については、医師と相談してください。 ・ <b>キャッチアップ接種対象者と平成20年度生まれの方は、令和4年4月1日～令和7年3月31日までに1回以上接種した方のみ対象です。(接種できる期間：令和8年3月31日まで)</b>

### おたふくかぜと男性のHPV(任意予防接種)の費用助成

豊橋市では、以下の任意予防接種(法律に基づかない予防接種)について費用助成を行っています。医師から十分な説明を受けた上で接種しましょう。

	回数	対象年齢	回数	助成額
生ワクチン <b>おたふくかぜ</b>	1回目	5歳～7歳未満で小学校就学前の1年間	1回	1回あたり2,000円 罹患した子は対象外です。
	2回目		1回	
不活化ワクチン <b>男性のHPVワクチン</b>	3回	小学6年生～高校1年生相当年齢の男性	3回	1回あたり13,000円 (ワクチンはガーダシルのみ)

- 豊橋市に住民登録がある方が対象です。
- 市から予防接種の発行はしません。接種を希望する方は、実施医療機関に確認・予約の上、母子健康手帳と豊橋市に住民登録があることを確認できる書類(子ども医療費受給者証など、外国籍の方は在留カード)を持参して接種してください。
- 接種費用は医療機関で異なります。接種費用から助成額を引いた額を医療機関へお支払いください。

### 豊橋市外で接種を希望する方(定期予防接種のみ)

- 里帰り出産や豊橋市以外にかりつけ医がいるなどの理由で市外で接種を希望する場合、接種前に申請が必要です。
- 接種に必要な書類の作成には1週間から10日ほどかかります(郵送にかかる時間は除く)。接種まで余裕を持って申請してください。
- **申請前に接種した場合の払い戻しはできません。**
- 詳しくは保健医療企画課にお問合せください。

### 同時接種について

ワクチンの同時接種は、必要な免疫を早くつけてお子さんを守るだけでなく、通院回数を減らすこともできます。医師の判断と保護者の同意によって行うことができます。なお、複数のワクチンを同時接種しても、1種類ずつ接種する場合と安全性や効果に違いはありません。